

第3回 氷川参道歩行者専用化検討協議会 議事要旨

1. 開催概要

日時	平成 27 年 8 月 10 日 (月) 15 時 00 分～17 時 00 分
場所	大宮区役所南館 302 会議室
出席者	<p>【学識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉大学 理工学研究科 教授 久保田 尚 ・埼玉大学 理工学研究科 助教 小嶋 文 <p>【交通管理者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県警察本部 交通規制課 課長 新井 文夫 (代理出席 道路協議係 丹賀 有紀子) ・大宮警察署 交通課 課長 矢口 順一 <p>【道路管理者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市 建設局 北部建設事務所 所長 染谷 純孝 (代理出席 次長 島村 親文) <p>【沿線自治会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉敷町 1 丁目自治会 会長 橋本 昭司 (代理出席 副会長 関口 彰一) ・吉敷町 3 丁目自治会 会長 横山 好之 ・吉敷町 4 丁目自治会 会長 大澤 規郎 ・浅間町 1 丁目自治会 会長 秋山 悦男 ・浅間町 2 丁目自治会 会長 矢内 桂一郎 ・大門町 3 丁目自治会 会長 逸見 裕一 ・仲町 3 丁目自治会 会長 山田 雄俊 ・東町 1 丁目自治会 会長 澤田 好雄 ・下町明美会 会長 岡村 保 <p>【協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氷川の杜まちづくり協議会 会長 小峯 政昭 ・ " 副会長 山田 とも子
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・議事次第、席次表、委員名簿 ・資料 1 氷川参道に関する取り組みの経緯 ・資料 2 交通実態調査の実施に向けて ・資料 3 アンケート調査(案)について ・資料 4 今後のスケジュールについて ・参考資料 1 氷川参道歩行者専用化検討協議会 設置要綱 ・参考資料 2 第 2 回氷川参道歩行者専用化検討協議会 議事録



2. 議題

(1) 資料1 氷川参道に関する取り組みの経緯について	
発言者	内容
事務局	～資料1 氷川参道に関する取り組みの経緯の説明～
委員	・ 自転車や歩行者の利用が増えたとのことだが、自転車利用者の目的地はわかるのか。量だけを確認しているのみか。
事務局	・ 自転車利用の目的地までは把握できていない。量だけの把握である。
(2) 資料2 交通実態調査の実施に向けて	
発言者	内容
事務局	～資料2 交通実態調査の実施に向けての説明～
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮の話として、今の氷川参道の歩行者専用化が可能だという結論の場合、車を使わないと商売が成り立たない方に対して、どのように補償するのか。氷川参道を利用せざるをえない方に対して、立ち退きや生存権などはどのように考えるのか。 ・ 氷川参道が利用できないとすると、店舗や自宅へ出入りができなくなる人も出てくる。 ・ 沿道の店舗の方々から、自治会長へ相談が来たときに、どのように回答すればよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿道でご商売されている方は、特に北区間に多いと思う。また、一般の民家の方でも、車庫が参道のみに向いている家もある。参道を利用せざるを得ない方には、通行許可証の発行など、通行ができるように警察とも相談しながら検討を行いたい。 ・ 今回の歩行者専用化の趣旨は、氷川参道を抜け道にしている車の利用を抑制したいという考えである。これら余分な車を排除することで、歩行者専用化を考えていきたい。 ・ このような趣旨のもと、今後は地元の自治会長さんや警察とも意見を交わしながら、考えていきたい。また、地元の方へも直接説明する場を設け、できるだけみんながよい形を考えたい。 ・ 氷川参道に面している方で、商売ができなくなってしまう方の出入りまでを禁止することはできないと考えている。
委員	・ 通行規制は非常に難しい問題だと思う。例えば、片倉新道は氷川参道が歩行者専用化となってしまうと、南銀方向に抜けることができなくなってしまう。
委員	・ 資料2のP2について、24時間の交通量調査は、調査の結果で、夜間の交通量が多かった場合に何か施策を考えているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 24時間の交通量調査は、過去に実施したことがない。一日の交通量のピークを見るためにも24時間調査で車両通過状況調査のチェックや補正を行うことを意図している。 ・ 物流の車は、夜間に走っているようにも聞いている。物流を含めた車両の実態を把握する意図でも、24時間調査を実施する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料2のP4について。10月4日の調査実施日に、周辺などでどのようなイベントが行われていたか、調査の実施にあわせてチェックしておく必要がある。 ・ また、資料2のP9について。自転車は、現状の道路形態での調査になると思うが、現状の把握を意図しているのか。歩行者専用化された場合のしつらえまでを想定して、調査を行う意図があるのか。どのように考えているか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1点目、調査当日のイベントについては、事務局側でもチェックを行いたい。 ・ 2点目の意見について、まずは、自転車が上り下りの各方向でどこをどのように走っているのか確認したいと考えている。自転車は路側帯を利用して走行していると思うが、歩行者専用化されて道路が広がった時に、路側帯を走っている自転車も走行位置が広がると予想される。 ・ 走行位置の明示や啓発方法も含めて、自転車に対する取り組みを今後考えなければならない。そのためにも、まずは現状把握を行いたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の交通安全教室などでもそうだが、氷川参道のどこを走ればよいか聞かれたときに答えに困る。どこを走ると違反にならないのか、普通の方には理解できないのではないかな。 ・ 法律と実際の安全上の話とは、別の面もあるように思う。歩行者専用化と言いつつ、増えている自転車を考えなければならない。 ・ 現在でも、参道交番のあたりで道路の渡り方などに問題があると思う。今後、道路や信号の状況が変わったり、区役所の移転で動き方や使われ方も変化すると思う。 ・ 現時点で考えられる様々な情報を集めて、今後のいろいろな状況を考えないといけないと思う
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の法律では、氷川参道を合法的に走るとは難しい面がある。まずは現状を抑えて、今後の在り方を考えることは重要なことである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山道や氷川参道の将来像を聞かせてもらいたい。 ・ 例えば、氷川参道ではお祭りなどのルートになっているが、歩行者専用化した場合に、申請すれば車両の通行が許可になるのかどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者だけしか歩けない道路への整備は難しいと考えている。 ・ 許可車両だけは通ることができる車両通行止めの形を想定している。また、特殊車両や救急車消防車の通行は、許可がだせるようにしたいと考えている。 ・ 氷川参道を歩行者専用化とした場合には、今の自動車交通は、氷川緑道西通線が役割を担うことになる。中山道は、今とあまり変わらない形にもっていききたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 氷川参道が通れないとなると、中山道をそのまま北上する交通によって、中山道の交通量は多くなるのではないかな。その場合は、地元に対して迷惑がかかる可能性がある。 ・ 中山道の運行計画も考えて、検討した結果をお示しいただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の交通シミュレーションの実施については、平日休日いずれか一方を予定している。この辺りについてはいかがかな。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平日と休日では、通行するタイプが異なるのではないかな。ぜひとも、平日休日の両方でシミュレーションを行い検討してほしい。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討には一定の時間が必要だが、どちらを優先すべきというような考えは地元にあるかな。甲乙つけがたいといった感じかな。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿道にお住まいの方に影響がある方が優先できると良い。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平日休日ともに、検討に間に合うよう頑張ってください。
(3) 資料3 アンケート調査(案)について	
発言者	内容
事務局	～資料3 アンケート調査(案)についての説明～
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートについて、下町のタワーマンションは自治会へ加盟していない。マンション全体で920世帯ほどあるが、配布方法や回収方法はどのようにするのか。

事務局	・管理組合などがあると思うので、市から接触するなどして、対応したい。
委員	・想定配布枚数について、今回のアンケートは世帯宛か個人宛かどちらで考えているのか。
事務局	・世帯を対象として考えている。世帯の代表の方にご回答いただきたい。
委員	・今回のアンケートの対象者は、中央通りより北側を含むのかどうか。特に北側は平成ひろばなどもあり、中央通りを境に参道をイメージするときの考え方が異なるのではないかと。 ・大門町3丁目の範囲だが、調査対象を、中央通りよりも南側だけとすることも考えられるがいかがか。
事務局	・可能ならば、南側のみとさせていただきたい。
座長	・アンケートの対象が修正されたので、P1の図面についても修正いただきたい。
委員	・吉敷では、賃貸などのワンルームマンションなども多い。地元で長く居住するだろうと思われる方を基本的な対象とするのであれば、自治会経由ということなので、対象の戸数などは個別に報告させてもらいたい。
委員	・アンケートの設問について、問7の選択肢の表現方法にも工夫が必要ではないか。 ・「今のまま“で”良い」「今のまま“が”良い」2つの問いかけ方があり、今後の取り組みを見据えた時に、どのように問いかけるべきか。
事務局	・「今のまま“が”良い」に変更したい。
委員	・アンケートが抽象的で分かりにくいのではないかと。歩行者専用化に対して、賛成か反対か単刀直入に聞いてはどうか。
座長	・賛成か反対かという問いかけ方は、住民投票に近くなる。賛否を問う場合には、アンケート対象者が、情報を正しく理解していることが重要になる。例えば先ほどの、沿道の方の出入りができるかどうか、十分な理解の上で実施すべきではないか。 ・今の段階では、ゆがんだ結果が得られる可能性もある。現時点では、心配な点を市にぶつけてもらうべきである。
委員	・氷川緑道西通線の整備や、西通線の整備目的などについて、情報を知っているかどうかを問いかけてはどうか。氷川緑道西通線の整備について、目的など情報を知っていると知らないとは、答えが違ってくるのではないかと。
座長	・資料のP2にあるような、これまでの経緯をきちんとお知らせするべきである。 ・歩行者専用化が目標としてあって、当時歩車分離を行った際には、自動車がパンクしてしまうためできなかった。その後、氷川緑道西通線ができることで、氷川参道の歩行者専用化ができるようになってきたことを、きちんと伝えるべきである。 ・ご意見のとおり、氷川緑道西通線の整備について、認知度を確認する設問があったほうが良い。
(4) 資料4 今後のスケジュールについて	
発言者	内容
事務局	～資料4 今後のスケジュールについて～
-	・質疑、意見なし

3. その他

発言者	内容
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車の問題について、氷川参道の北向きの自転車と南向きの自転車がどこを通行すべきなのか、また、歩行者との接触などもあり、かなりの問い合わせをいただいている。 ・ 今後の検討になると思うが、許可車両がある程度の交通量がある場合、歩行者専用化と言えるのかどうか。例えば、スクールゾーンで時間規制を行っているものの、車両が入ってくると取り締まり要望も出てくる。 ・ また、自転車については走行位置を明確にしたほうが良いという一方で、あまり区分してしまうと、許可車両と歩行者の空間構成が、参道の一番最初の形態に近くなってしまわないかとも思う。 ・ 現時点で考えている道路のしつらえはどのようなものか。今のままで規制だけかけるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路のしつらえは、今後検討していく。舗装も、参道らしさを出して作っていきたいが、地元の方々のご意見も踏まえて検討したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者が通る道路だとわかるようなしつらえにするイメージか。舗装によっては、車両の騒音なども心配されるかもしれない。 ・ また、自転車がどこに向かって行かれるのかを質問したが、歩行者専用化した場合の自転車の扱いについても考える必要があり、それなりの交通量があるならば、取り締まりも考える必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートは、P2とP3を配布する予定か。参道に面している人といない人で、回答が変わってくると思う。また、代替の道路がなぜできるのか、理由が書いていないので、情報が不足していると考えます。 ・ 今は、南大通りから左折で参道に入ってくる車両が多いが、それらを捌ける道路ができるということを伝えるべき。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 氷川緑道西通線整備の状況を説明して答えていただく必要がある。 ・ 先ほどの議論とあわせて、代替路線についても情報を加えていく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の意見についての解決策として、問5と問6の間に、西通り線開通後について、というように区切りを入れる方法も考えられる。検討いただきたい。
委員	<p style="text-align: center;">～交通並木観察会に関する説明～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全面など考えて20名の募集である。回覧へのご協力をお願いしたい。

以上